

プロ迫力のデモ走行など観衆熱気

ラリー三河湾 プワステがまごおり盛況



ラリーカーやクラシックカーなどが集結した会場(蒲郡市海陽町で)

公道を巡るラリーやプロドライバーによるデモ走行などを通して、モータースポーツの振興を図る「パワステがまごおり」は21日、市内海陽町のラグーナビーチ(大塚海浜緑地)を主会場に開かれた。3月に開かれる全日本ラリー選手権「ラリー三河湾」のプレイベントとあつて、県内外から多くの人が詰めかけ、盛り上がりを見せた。市などをつくる実行委員会(勝田照夫会長)の主催。

(多田羅有美)

買物ラリーとも呼ばれる一般参加の「スカベンジャーラリー」には、昨年の第1回大会を大きく上回る123台が出場。クラシックカーやラリーカーなどが、舗装路を中心とする海岸沿いや市街地の約43キロを駆け抜けた。

途中、西蒲町のモーターパークやボートレース蒲郡など4カ所のチェックポイントでクイズに答えて、正解数が多かった



プロドライバーによる迫力のデモラン走行(同)

た10位までにミカンなどの賞品が贈られた。

デモランでは、リードドライバーの勝田照夫選手らがラリーカーでドリフトなどの運転技術を披露。午前中の雨でぬかるんだ広場で盛大に泥水を跳ね上げ、360度ターンを決めると、歓声と拍手が起った。

鈴木寿明市長は「多くの市民や企業の協力のおかげで、笑顔あふれる大会になった。3月のラリー三河湾に向けて、態勢をさらに強くしたい」と意気込んだ。

障害支援区分認定審査会運営体制を強化

案件増加傾向への対応図る

東三河広域連合

東三河8市町村で構成する東三河広域連合は、障害者に対する福祉サービスの必要性を判定する障害支援区分認定審査会の運営体制を強化する。増加傾向にある審査案件に対応する。

(中嶋真吾)



東三河広域連合は障害支援区分認定審査会委員と審査会の回数を増やす

医師など専門家が務める審査会委員の人数を28人から36人に増員するとともに、年48回開いている審査会を72回へと大幅に増やす。

同連合によると、2021年度に2177件だった審査件数は、24年度には2601件になる見込みで近年増加傾向だという。

案件の増加に伴い認定作業に遅れが生じていて、体制強化を図ることで「なるべく早く認定できるようにする」(担当者)狙いがある。

同連合は、会計年度任用職員2人も新たに配属する。

審査会の事業費として、24年度予算案に1681万円を盛り込んだ。2月7日

に開かれる同連合協議会2月定例会には予算案とともに、委員の定数を変更する条例の一部改正案も提出する。

同連合の構成自治体のひとつ、豊橋市によると身体、知的、精神の障害別に見た場合に全国的な傾向と同じく精神障害者が近年増えているという。それに加えて担当者は、福祉サービスの認知度が上がってきたことも審査件数を押し上げる要因になっているとみる。



クラシックカーやスポーツカーなど集まったパワステ蒲郡=ラグーナビーチで

往年の名車など128台ずらり

パワステがまごおり

蒲郡市内43キロを走行するラリーイベント「パワステがまごおり」が21日、開かれた。実行委員会主催のクラシックカーやスポーツカーなど128台が参加した。

山と海に囲まれた豊かな自然を生かしたモータースポーツ文化の普及と地域振興を目的に昨年から始まった。今回は3月1〜3日に市内で開催する「ラリー三河湾2024」のプレイベントとして企画した。

参加者は海側のラグーナ蒲郡地区や西蒲温泉街をはじめ、市中心部の竹島水族館、ミカン畑が広がる山側の地域を走行しながら、各コースに設定したさまざまなミッションをクリアした。メイン会場のラグーナビーチ周辺ではラリーカーのデモランや消防車両などの



蒲郡信金などによる交通安全イベント「フェスティバルマーケット」で

「はたらく車」の展示があった。

蒲郡信金や市交通安全啓発フェスティバルマーケット」では蒲郡信用金庫と蒲郡署、市などによる交通安全イベントがあった。白バイの展示や車のシミュレーター体験を通じて来場者に交通安全意識向上を呼び掛けた。

【林大二郎】

雨にぬれ 名車一層の輝き



スタート地点から発進するスポーツカー=蒲郡市海陽町で

蒲郡のイベントに123台

スポーツカーやクラシックカーなどで蒲郡市内を周遊するラリーイベント「パワステがまごおり」が21日、海陽町のラグーナビーチを主会場に開かれた。

手軽にラリーの雰囲気を楽しめる一般参加型の催しで、市内外から123台が集結。延長40キロほどの公道のコースを法定速度で走り、途中の地点でクイズに答えながら規定時間内でゴールを目指した。

雨天ながら、スタート地点にはトヨタの「GRヤリス」や日産「フェアレディZ」、ボルシェ「ボクスタ

「S」などの名車がずらり。英モーターガンのスポーツカーで参加した安城市の会社員神本浩志さん(66)は「クラシックな形ときびきびとした走りが魅力。雨が上がったらほろを上げて楽しみたい」と話した。会場で1台ずつ車種が紹介され、順番に出発した。

市やモンテカルロオートスポーツクラブ(長久手市)などをつくる実行委員会主催し、2回目。今回は3月1〜3日に市内で初開催する自動車レース「ラリー三河湾」の関連イベントとして開いた。(西山輝一)

来月10日「ぎよぎよフェス」

蒲郡 ラグーナかわちゃん来場 催し多彩

海・みなど・蒲郡 蒲郡市海陽町のラ グーナフェス・ラ グナシアで「海・み

など・蒲郡 ぎよぎよフェス」を開く。日本財団「海と日本プロジェクト」の一環。

「さかなのおにい

さん かわちゃん」 ルター作りや塗り絵など、ワークショップがある。

来場「おさかなビンゴ&クイズ大会」や「ふれあい水族館」、エコキャップキーホルダーが必要。

東三河市町村 今年の重点施策 ◆4◆

蒲郡市

蒲郡市は、令和6年4月1日で市制施行70周年を迎えることになりました。

【令和6年度重点施策】
①アフターコロナ・地域コミュニティ

先日の市議会12月定例会におきまして、私の市長2期目の100の政策提案の1つである「地域協働の推進と伝統・文化の継承、発信、多世代交流の拠点」となる施設整備を支援する基金を設置する条例案を提出させていただきます。

【令和6年度重点施策】
②子どもファースト・教育

これまでと同様に「子どもファースト」という考え方で市政に取り組んでまいります。引き続き、子どもたちが蒲郡で生まれ、育つよかった、将来蒲郡に貢献したいと思つてもらえるまち、産み育てやすいまち、「子育てするならば蒲郡」と言っていただけのようなまちづくりを推進してまいります。

【令和6年度重点施策】
③健康・福祉

市民の皆さまが、運動習慣やスポーツを通じて健康になつていったり、

【令和6年度重点施策】
④都市基盤整備・交通

南海トラフの地震やさまざまな災害に対して、地域コミュニティの存在が非常に大事であると思つております。



鈴木寿明市長

市民憲章三つの誓い」が制定50周年を迎え、改めて市民憲章の意義や思いを再確認いたしました。

今後も引き続き、「ひとづくり」「いえづくり」「まちづくり」を市政の原点として、「みんなの

南海トラフの地震やさまざまな災害に対して、地域コミュニティの存在が非常に大事であると思つております。

【令和6年度重点施策】
⑤SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑥SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑦SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑧SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑨SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑩SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑪SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑫SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑬SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑭SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑮SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑯SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑰SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑱SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑲SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
⑳SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉑SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉒SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉓SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉔SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉕SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉖SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉗SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉘SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉙SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉚SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉛SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉜SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉝SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉞SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㉟SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㊱SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㊲SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㊳SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㊴SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㊵SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㊶SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

【令和6年度重点施策】
㊷SDGs

持続可能な環境の構築に向け、この蒲郡が未来に向けて豊かで快適に過ごせるまちとして子どもたちに渡していくため

東日 食品サンプル作りやマグロ解体ショー

青10日「ラグーナ内で「まんぷく海まつり」開催

海・みなど・蒲郡 実行委員会は2月10日午前10時から、蒲郡市海陽町のラグーナテンプル内フェスティバルマーケットで「海・みなど・蒲郡 まんぷく海まつり」を開催。

日本財団「海と日」の「海」と「食」をテーマに、食品サンプル作りなどの体験講座やマグロ解体ショーのほか、海

鮮料理が無料で振る舞われる。食品サンプル作りでは、ミニ海鮮丼を模した手のひら大のサンプルを作ることができる。1個500円。マグロ解体シ

ヨーでは迫力ある包丁さばきが披露される。解体されたマグロはその場で購入できる。無料で振る舞われる伊勢エビやカニが入った特製海鮮汁と、メヒカリ唐揚げは、それぞれ先着200食に限る。さらにメールや交流サイト(SNS)

「動くスタンプ作り」は、1回100円で体験できる。ラグーナパスポートがあれば無料。市内の三谷水産高校による体験コーナーでは、ちりめんじやこに紛れ込んだ生き物を探す「発見！チリメンモンスター」や「ダイラタン

シー体験」、「作って知ろうラムネの不思議」などのワークショップに参加できる。

開催を知らせるチラシ

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

出店料は1日380円。期間は3月20日から4月7日にかけて、午前10時から午後7時の間で希望する日時で、申し込みは市ホームページで2月5日まで受け付けている。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

東西の道路、また南北の道路、この蒲郡を発展させるためには、市民の安全・安心や生活面、各種産業の流通面、そして観光を含む人の流れに

おいても、もっと道路の整備、公共交通の課題解決が必要であると考えておりますので、積極的に推進してまいります。

港につきましては、完成自動車の輸出や、様々な荷役で使われていますが、一層の港の活性化を目指すとともに、新たに災害の拠点となりうる港

を作りたいと考えております。

過去には、海上自衛隊の艦艇が蒲郡の港にきていた。蒲郡で防災訓練を行っております。

昨年9月には砕氷艦も入港しております。

自衛隊、海上自衛隊の皆さんと関係性を結ぶことにより、いざ大きな地震が起こった時には港から支援をしていただける、そんな関係を築くことが必要だと思っております。

港の強靱(きよ)うじん)化にもしっかりと取り組んでまいります。

取得し、SDGsの達成を目指す。蒲郡市は、桜の名所である水竹町の中央公園で花見客をもてなす移動販売車などの出店を募っている。花見シーズ

ンに飲食物を販売してもらい、公園の魅力アップを図る。

公園は市内の中央部に位置し、約500本のソメイヨシノが植えられている。

夜間はライトアップされ、夜桜も楽しめることから、花見期間中は大勢の人たちでにぎわう。

出店料は1日380円。期間は3月20日から4月7日にかけて、午前10時から午後7時の間で希望する日時で、申し込みは市ホームページで2月5日まで受け付けている。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

取得し、SDGsの達成を目指す。蒲郡市は、桜の名所である水竹町の中央公園で花見客をもてなす移動販売車などの出店を募っている。花見シーズ

ンに飲食物を販売してもらい、公園の魅力アップを図る。

公園は市内の中央部に位置し、約500本のソメイヨシノが植えられている。

夜間はライトアップされ、夜桜も楽しめることから、花見期間中は大勢の人たちでにぎわう。

出店料は1日380円。期間は3月20日から4月7日にかけて、午前10時から午後7時の間で希望する日時で、申し込みは市ホームページで2月5日まで受け付けている。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

取得し、SDGsの達成を目指す。蒲郡市は、桜の名所である水竹町の中央公園で花見客をもてなす移動販売車などの出店を募っている。花見シーズ

ンに飲食物を販売してもらい、公園の魅力アップを図る。

公園は市内の中央部に位置し、約500本のソメイヨシノが植えられている。

夜間はライトアップされ、夜桜も楽しめることから、花見期間中は大勢の人たちでにぎわう。

出店料は1日380円。期間は3月20日から4月7日にかけて、午前10時から午後7時の間で希望する日時で、申し込みは市ホームページで2月5日まで受け付けている。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

取得し、SDGsの達成を目指す。蒲郡市は、桜の名所である水竹町の中央公園で花見客をもてなす移動販売車などの出店を募っている。花見シーズ

ンに飲食物を販売してもらい、公園の魅力アップを図る。

公園は市内の中央部に位置し、約500本のソメイヨシノが植えられている。

夜間はライトアップされ、夜桜も楽しめることから、花見期間中は大勢の人たちでにぎわう。

出店料は1日380円。期間は3月20日から4月7日にかけて、午前10時から午後7時の間で希望する日時で、申し込みは市ホームページで2月5日まで受け付けている。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

取得し、SDGsの達成を目指す。蒲郡市は、桜の名所である水竹町の中央公園で花見客をもてなす移動販売車などの出店を募っている。花見シーズ

ンに飲食物を販売してもらい、公園の魅力アップを図る。

公園は市内の中央部に位置し、約500本のソメイヨシノが植えられている。

夜間はライトアップされ、夜桜も楽しめることから、花見期間中は大勢の人たちでにぎわう。

出店料は1日380円。期間は3月20日から4月7日にかけて、午前10時から午後7時の間で希望する日時で、申し込みは市ホームページで2月5日まで受け付けている。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

問い合わせは、都市計画課 電話0533(66)1114まで。

取得し、SDGsの達成を目指す。蒲郡市は、桜の名所である水竹町の中央公園で花見客をもてなす移動販売車などの出店を募っている。花見シーズ

公式YouTube大賞の栄誉

蒲郡信金 PR動画 日経社歌コンで7位



日経社歌コンテスト決勝大会のプレゼン＝立川市で(提供)

蒲郡信用金庫は、「日経社歌コンテスト2024」決勝大会で「公式YouTube大賞」を獲得した。創立75周年記念事業として制作したPR動画をエントリーしていた。

内容は、蒲郡信金のキャラクター「がまちゃん」のテーマ曲「未来へ」を応募した120社・団体の中から予選を勝ち抜いた上位12社が24日に東京都立川市であった決勝大会でプレゼンテーションした。



記念写真(同)

チームリーダーを務めた総務部の鈴木梢さんは、「上位入賞を目指していたが、悔しい気持ちはありますが、プロジェクト開始当初のことを思うと、素晴らしい結果を残せたことは奇跡に近いと感じます。これも多大なるご協力をいただいた皆さまのおかげ。貴重な経験をさせていただいたことに感謝の思いでいっぱいです」とコメントした。

動画は、蒲郡信金の公式チャンネル「QRコード」で視聴できる。今後「JOYSOUNDカラオケ」として、配信される予定。【山田一晶】



東愛知 蒲郡で救急車がトラックに接触

26日午後2時40分頃、岡崎市戸崎町の県道信号交差点で、女性(84)を救急搬送中だった蒲郡市消防本部の救急車が、停車中のトラックと接触した。けが人はいなかった。消防本部によると、交差点で右折して前の車を追い越したところ、救急車の運転手が車幅を見誤り、トラックに左ミラーが接触して破損した。走行不可能となり、岡崎市消防本部の救急車で女性を搬送した。到着は20分遅れたが、女性に容体の変化はなかった。蒲郡市消防本部は「本人と家族に対し、おわびします」とのコメントを発表した。再発防止の徹底に努める。

東愛知 「食」テーマに催し多彩

海・みなど、蒲郡実行委 まんぷく海まつり

来月10日

「海・みなど、蒲郡実行委員会」は、蒲郡市海陽町の商業施設「フェスティバルマーケット」でグルメイベント「まんぷく海まつり」を2月10日に開催する。

今年「食」をテーマにイベントを開き、多くの人に蒲郡で水揚げされる深海魚や地魚の料理を食べてもらい、水産資源の重要性を伝える。



イベントのチラシ(提供)

地元企業による市産の深海魚「メヒカリ」の空揚げと地魚を入れた特製海鮮汁を各200食限定で振る舞うほか、県立三谷水産高校による海に関するワークショップ体験などを用意した。また、施設内の飲食店の協力でマグロの解体実演と即売会も開く。会場は入場無料。午前10時から午後4時。解体実演は午後1時から。事務を務める市企画政策課の小田将也さんは「食べながら、蒲郡の食文化と海の魅力を感じて」とPRした。

【林大朗】

読売



養うなぎをPRする生産者団体の代表ら(22日、名古屋市中区)

養殖ブランド「葵うなぎ」

柔らかさが特長 県など共同開発 西尾3店で販売開始 県は、県水産試験場(蒲郡市)などが生産技術を開発し、身の柔らかさが特長の養殖ウナギのブランド名を「葵うなぎ」に決めた。西尾市のウナギ料理店では、27日から限定販売を開始。販売は2月12日までを予定している。

葵うなぎは「あいちの「おおきな」「おいしいうなぎ」にちなみ、「三つ葉」が家紋の徳川家康にあやかって命名したという。県によると、県水産試験場は大豆イソフラボンを稚魚のシラスウナギに与えることで、身が柔らかく、大きなウナギを育てる新技術を開発。県や一色うなぎ漁業協同組合などが共同で、021年に特許を取得し、生産者団体の代表らは今月22日、県庁で新ブランドをPR。試食した大村秀章知事は「脂っこくなく、柔らかい」と舌鼓を打った。

限定販売が始まった料理店は、西尾市の「うなぎ処 いっしき」「うなぎ割烹 みかわ三水亭」「うなぎの兼光一色本店」の3店。各店舗で1日20食限定という。

5台目のベンチアート登場

蒲郡の春日浦公園で除幕



海辺などのロケーションを生かし、生活の豊かさを感じる場を創出させるプロジェクト。これまでに4台を、地元企業や市民団体などの協力で竹島園地や竹島ふ頭「みなとオアシスがまごおり」に設置した。

国内自動車整備などを手掛ける「東海自動車工業（鹿島町）の三田富男相談役が、地元で貢献できる活動を考える中でプロジェクトを知り、日頃、散歩で訪れる春日浦公園にベンチを設置した。

「寝釈迦」を一望
蒲郡の友好都市である沖縄県浦添市に思いを寄せ、ジンベイザメとウミガメのベンチをデザインにした。ベンチに座ると目の前には三河湾が広がり、三河大島と小島が重なり合っているように見える「寝釈迦」が眺められる。海でつながる浦添のことを考えてほしいとの思いも込められた。

贈呈式と除幕式は春日浦公園で開かれた。三田相談役は公園を管理する市の代表として出席した大原義文副市長に目録を手渡した。

三田相談役は「散歩やウォーキングなどで立ち寄った人がベンチに座って目の前に見える寝釈迦から元気がもらえるようなパワースポットになってほしい」と話した。



ジンベエザメとウミガメに癒やされて

春日浦公園に設置
自動車販売・整備業の東海自動車工業（蒲郡市鹿島町）が、ジンベエザメとウミガメをかたどった御影石のベンチを、同市形原町の春日浦公園に設け、31日にお披露目式があった。

蒲郡商工会議所や市などでつくる実行委が、企業や団体に協賛を呼びかけて、海辺に个性的なベンチを設置する「蒲郡ベンチアートプロジェクト」の一環。今回が5台目だ。同社の三田富男相談役（70）は蒲郡市の友好都市・沖縄県浦添市に思いを寄せ、沖縄の海に生息するジンベエザメとウミガメのベンチを考案した。

三河湾に面した園内では海側から上る朝日を眺める

蒲郡ベンチアートプロジェクト

春日浦公園に設置
三河大島と小島の光景は、寝釈迦が横になって寝ている

幕式に出席した三田さんは「市民にとつての憩いの場や、パワースポットになってほしい」と話した。

（西山輝一）

東日 春日浦公園 「蒲郡ベンチアート」5台目

ウミガメとジンベエザメ 御影石製を 東海自動車工業が寄贈

蒲郡市内の海辺にベンチを置いていく「蒲郡ベンチアートプロジェクト」で、第5弾となるベンチが完成し、先月31日、形原町の海岸沿いにある春日浦公園で関係者にお披露目された。

5台目のベンチは御影石製で、ジンベエザメとウミガメがかたどられている。大きさは、ジンベエザメが幅1・8メートル、奥行き1・4メートル、ウミガメは1・4メートル、ともに高さ約40センチ。地元の自動車販売

「東海自動車工業」が市に寄贈した。相談役の三田富男さん（70）が、いづれも同町のODA建築事務所設計を依頼し、柴内石材店が制作した。

三田相談役は「散歩中に座って、海の眺めを楽しんでほしい。太平洋でつながっている沖縄へ思いを寄せてもらいたい」と話した。市と沖縄県浦添市は友好都市提携を結んでおり、現地を思わせるジンベエザメとウミガメをモチーフに選



蒲郡市に寄贈されたベンチアートと三田相談役（左から7人目）＝蒲郡市形原町で

鈴木寿明市長の代りだという。

プロジェクトは10

理で目録を受け取った大原義文副市長は「人が集まる場所が目に浮かぶ。海と空とまちと語らえる場所になる」と喜んだ。

発案した蒲郡ベンチアートプロジェクト委員会の小池高弘会長は「これまで市の中心部に集中していたが、西部へ広がるきっかけになる。ぜひ座ってみて、感想を多くの人に話してほしい」と期待を込めた。

（多田羅有美）

東愛知 神話ベース、海のアニメ映画

「海・みなと・蒲郡実行委員会」は、蒲郡市のテーマパーク「ラグナシア」で海に関するアニメ映画「ソング・オブ・ザ・シー」の上映会を17日に開く。

海の現状を伝え未来へとつなげる日本財団の活動「海と日本プロジェクト」。市内の子どもに、楽しみながら国内外の海について考えるきっかけにするため企画した。

映画はファンタジー作品。アイルランドの神話をベースに、幼い兄妹の大冒険を素材にしてファンタジックな映像美で描き出している。2014年に公開され、第87回アカデミー賞の長編アニメ



上映会をPRする市職員＝蒲郡市役所で

上映会は午前11時。料金無料（ラグナシア入園料付）。専用フォーム「QRコード」に氏名、住所、電話番号などを書いて6日までに申し込む。問い合わせは事務局（0533-36-1116）へ。

【林大朗】



総合パンフをリニューアル

7年ぶりに蒲郡市 まちづくりの特集ページも



リニューアルしたパンフレットをPRする市職員＝蒲郡市役所

蒲郡市は総合パンフレットを7年ぶりにリニューアルした。観光による交流人口増加を意識し、蒲郡が新たに取り組んでいる「まちづくり」の内容など加えた。

これはこれまでのパンフレットは、時代の変化で内容やデザインが古くなってきた。7年で変わった蒲郡の観光や取り組みを分かりやすく伝え、多くの人から「選ばれ、訪れたくなるまち」にする。中身は海や山をはじめ

とした魅力的な景観が伝わるよう、写真を中心としたデザインにした。温泉施設や観光スポット、市内で体験できるアクティビティなどを紹介している。表紙は手に取って読み進めたいくなるよう、雑誌をイメージして仕上げた。

また、映画のロケ地誘致などによるシティーセールス▽移住▽観光地再生や魅力の引き出しの四つのまちづくりに注目した特集ページを作った。蒲郡が新たに取組む施策を分かりやすく説明している。

パンフレットは2万部作り、近隣自治体や市内の観光施設に配布のほか、市役所にも置く。

市観光まちづくり課の浅里太一さんは「蒲郡は豊かな自然をはじめ、遊ぶ場所や魅力的な観光地などが豊富にあります。パンフレットを見て蒲郡を訪れて」と話した。

【林大朗】

蒲郡高生徒が人生疑似体験 働き方や三大資金学ぶ

蒲郡信金の金融経済教育授業



蒲郡信金による金融経済教育授業＝蒲郡高校で(提供)

蒲郡信用金庫はこのほど、県立蒲郡高校2年生238人を対象に金融経済教育授業を開いた。働き方の選択、非消費支出、人生の三大資金(住宅、教育、老後)、結婚、ローンについて説明した。

消費や貯蓄など家計管理に関わる事項について実感を持って理解してもらう。授業では、20代と30代の人生疑似体験ゲームを取り入れた。ゲームを通して収入が決まる就職から始まり自動車購入、結婚、子育て、住宅購入を体験した。

講師は、選択肢によって各事項の収支金額が変わることを説明し「お金を使う時には必要なものなのか欲しいものなのかを考え、自らの生活に必要な選択をしていってほしい」と述べた。

生徒からは「ゲーム形式だったのでわかりやすかったです。体験を生かしてマネープランを考えたい」との感想が寄せられたという。【山田一晶】

東日

映画「ソング・オブ・ザ・シー」

蒲郡市民200人無料招待 申し込み6日まで

海・みなと・蒲郡実行委員会は17日午前11時から、海の魅力を伝える映画「ソング・オブ・ザ・シー」の上映会を蒲郡市海陽町のラグーナテンボス・ラグナシアで開く。日本財団



希望者はQRコードから応募フォームに記入して申し込む。6日まで。定員を超えた場合は抽選を行う。

問い合わせは、事務局(市企画政策課)電話0533(66)1162まで。

中日

はるみ濃厚な仕上がり

かんきつ類 蒲郡で出荷最盛期

春先に旬を迎えるかんきつ類「はるみ」の出荷が、蒲郡市で最盛期を迎えている。3月中旬まで、中部地方や関東、北陸などの卸売市場を通じて、各地のスーパーや百貨店へ出荷する。清見とポンカンを掛け合わせた品種で、プチプチとした食感と豊富な果汁が特徴。JA蒲郡市の担当者は「今季は夏の雨が多く大玉傾向だが、濃厚な味でおいしく仕上がっている」と話す。



はるみの果実を点検する職員＝蒲郡市神ノ郷町で

神ノ郷町のJA集出荷場では2日、職員が果実を一つずつ点検し、等級や大きさに合わせて仕分けして箱詰めしている。

東日

神社に侵入し さい銭を盗む 豊橋署などが 容疑の男逮捕

豊橋署と県警刑事総務課は2日、窃盗(さい銭ねらい)と建造物侵入の疑いで、本籍蒲郡市住所不定無職の内山昌光容疑者(65)を逮捕した。逮捕容疑は、昨年9月26日午後から27日午前にかけて、豊橋市内の神社に侵入し、さい銭箱から現金1500円を盗んだとされる。

署によると容疑を認めている。神社関係者と面識はなく、署は犯行動機や余罪を調べている。

中日

さい銭盗んだ疑い 豊橋署と県警刑事総務課は2日、建造物侵入と窃盗の疑いで、本籍蒲郡市の住所不定、無職の内山昌光容疑者(65)を逮捕した。

逮捕容疑は、昨年9月26日午後2時半から27日午前10時ごろ、豊橋市の神社拝殿に掃き出し窓から侵入し、さい銭箱から約1500円を盗んだとされる。署によると、「間違いないと容疑を認めている」と容疑を認めている。

東愛知



前蒲郡市立蒲郡中学校長 鈴木 洋

能登ではおよそ一か月経て学校が再開した。子どもたちの笑顔が報道され安堵の思いだった。同時に地域における学校の存在価値や役割の重要性も身に染みた。

そして、避難所となった学校の現状と今後の避難所のあるべき姿がよく分かった。校舎や敷地の損壊や液状化等があった。全面復旧には長期を要す様相。避難所としても中期活用を要するため、市単位で中学生を他市へ二次避難させて教育を受けられるようにした地区もあった。避難所が過酷だと、二次避難は病人や妊婦や介護を要するお年寄りや障がいのある子らを含め住民の多くが対象となる。二次避難の必要がない街や避難所づくりがとても重要だ。

地震発生から学校の解錠が一時以上遅れた避難所もあったようだ。瞬時に避難所が解錠され、担当や学校職員が即刻駆け付けることが必須。学校に予想を超える大勢が避難。「もう一杯だから、別の避難所に行つて」などと、避難民を断ることがあつては為らぬ。市街地なら千名を超える避難民を受け入れる学校の体制も準備しておこう。

学校改革への提言(五十七) 災害と学校(4)

避難所の備蓄食料等が当初瞬時になくなつた。備蓄食料や飲料水は千名が三日間しのげる分量が必要。衣類や下着や寝具や医薬品や生理用品も十分な備蓄が必要だ。

トイレがすぐに溢れ、悪臭漂う環境。感染症拡大の要因にもなった。瞬時に千名を超える避難民に対応できる緊急用トイレ設置が重要事項。

避難所が断水で危機的。緊急給水設備は必須。海水やプールの水を飲料水にできる装置も学校に常設すべき。

避難所も停電。非常用電源が作動する施設がない。寒さで凍える避難所は過酷。夏は熱中症も必然。非常用電源が作動すればエアコンが使えると体調の管理ができる。

過去と今回の震災を教訓にし、行政には避難所となる学校の改善をお願いしたい。学校も自治体に強く要請しよう。今こそ明日の命のために財を注ぐときだ。近いうちに起こる南海・東南海地震では街もインフラも経済も壊滅。だが、命と心がつながれば復興は必ずある。その際、「おらが街は災害時の備えが十分あつて助かった。ありがたかった。」という避難生活の中の行政や学校への感謝の思いが重要。それが復興への大きな力となり返ってくる。

理想の避難所像が明確になつた今、即刻動く行政や学校であつてほしい。災害時に「人災」と非難されぬように。